

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和7年10月28日	
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進						
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	諏訪湖の水辺アクティビティ推進事業				電話	0266-57-2901(内線2315)	
					E-mail	suwachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	諏訪湖創生ビジョンの目指す姿“泳ぎたくなる諏訪湖”の実現					
	現状と課題	諏訪湖の水質が水浴可能などところまで改善してきていること、また知事の諏訪湖遊泳(R6. 8. 23)を契機として、地域住民とともに「泳ぎたくなる諏訪湖」の実現に向けた具体的な取り組みを進めるため、「R6.9.29開催 諏訪湖の日フォーラム」参加者に意識アンケートを実施(138名回答)。その結果、“諏訪湖で泳ぎたくない”が7割強で諏訪湖の水に対する住民意識が課題であることが判明した。					
	内容 (変更後の内容)	まず地域住民の諏訪湖の水に対する親水意識の醸成を図るため、諏訪湖の水に親しむイベントを開催し、参加者からの意見・感想を取りまとめる。地域住民の意見を踏まえた効果的かつ継続可能な取組の検証を行うとともに諏訪湖での新たな水辺アクティビティの可能性を探る。 ○親水イベントの開催 時期:令和7年8月3日(日) ※各回1時間半で、9時～、11時～、13時～、15時～の4回実施 延べ153名参加(各回定員40名) 参加対象者:県民(諏訪地域住民を優先) 場所:下諏訪町赤砂崎公園付近の湖岸 内容:参加者の健康確認、安全対策を行ったうえで水上アスレチックや砂浜を活用した水辺アクティビティイベントを実施(開催に当たってはSNS広告を活用し参加者募集を実施)					
	事業期間	令和7年4月 ～ 令和7年9月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容		実施額	備考	
	諏訪湖の水辺アクティビティ推進事業		イベント開催運営委託費一式		1,147,264	台船借用:100,000 台船貸出:100,000 カヤック貸出:320,000 SUP貸出:64,000 カヤック運搬:35,000 スタッフ人件費:210,000 モーターボート使用料:60,000 損害保険料:16,000 広報費:137,968 消費税:104,296	
合 計				1,147,264			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	参加者の親水意識の向上			7割以上	9割5分	● 達成	
	イベント参加者数			120人	153人	○ 一部達成	
						○ 未達成	
事業実績・成果	令和7年8月3日(日)午前9時～午後4時半まで、下諏訪町赤砂崎公園付近にて「スワウォーターアドベンチャー」と題して、親水イベント(カヤックで湖上を周遊したり、沖合に設置された台船をSUPで作った橋を渡るアトラクション)を実施した。講習等含め、各回1時間半として合計4回実施したところ、応募定数160名に対し、174名の応募があった。キャンセルが一部あったものの、当日は延べ153名が参加して思い思いに楽しんだ。参加者の構成としては、62%が諏訪管内から参加しており、30代～40代の親子(子は児童、幼児)という組み合わせで86%を占めた。なお、「このイベントを通じて諏訪湖の水辺に対する親しみが深まりましたか?」というアンケートの設問に対して「とても感じた(67%)・ある程度感じた(28%)」と、約95%の参加者から親しみが深まったとの回答が得られ、参加者の方に諏訪湖に対する親水意識に対して親しみを感じていただけたような取り組みになったと考えられる。						
今後の方向性	令和7年11月4日に開催する諏訪湖の水辺アクティビティ推進事業ワーキングで今回のイベントの振り返りを共有しながら、引き続き親水意識の向上に繋がる取り組みの在り方を検討していきたい。						